

農地・水・環境保全の紹介

田んぼの生きもののキャラクターコンクール 審査会

子どもたちが、メダカやホタルなどの田んぼに住む生きものを身近に感じ、大切な田んぼや畑が生きものの住みかとなっていることを理解してもらうため、小学生以下の子どもたちを対象に「田んぼの生きもののキャラクター」を募集しましたところ、106作品の応募がありました。

厳選なる審査により、10作品の入賞を決定し、平成 25

年 12 月 21 日(土)に三重県総合文化センターで『田んぼの生きもののキャラクターコンクール表彰式及び作品展示』を開催し、10 名の子どもたちに表彰状を授与します。

また、表彰式と合わせて『メダカのコタローワンダーランド in 三重』を開催し、「守ろう地域!～子どもたちの未来のために～」をテーマにメダカのコタロー劇団による環境アニメ紙芝居や環境クイズを行います。

田んぼの生きもののキャラクターコンクール作品紹介

濱口ころろさん【キラキラめだか】



まつ毛やうろこもキラキラしているめだかです。田んぼをおしゃれな場所にしてくれます。

奥村怜哉さん【オトンボ】



田んぼの安全を守るお父さんのオトンボ

古屋真太郎さん【どどちゃん】



どどちゃんは田んぼの水をきれいにしてくれて、おいしいお米をつくるお手伝いをしてくれます。

奥村希龍さん
【たんぼのゆうしゃざりれんじゃあ】



悪者から田んぼを守るため、久居農林周辺からやってきた正義の勇者たち!

八部野獅堂さん【まもるくん】



元気なお米がそだつように空の上から見まもります。

丸山千春さん【稲ガメ親子】



足がよごれているのは田んぼに住んでいるからです。稲ガメ親子はなえぼうしや、なえのしっぽが特長で、特にこうらは親になると米に変わります。

沼田芽依さん【みはりんぼ】



田んぼに鳥やけものが入らないように目を光らせながら守ってくれています。

荒木笙さん【オオスマくん】



虫が落ちてオオスマくんは食べようとしている。でも、虫は水中でもがんばって泳いでいる。



西村咲紀さん【あおぴょん】

目はアメンボ、ほっぺたはおたまじゃくし。首には田と〇のネックレス、鼻は田。作物がよく育つように「にじ」。アメンボの「あ」、おたまじゃくしの「お」、カエルはぴょんぴょんはねるから「ぴょん」で『あおぴょん』



石田光さん【さぎの剣士】

田んぼで一番目だっているさぎは、田んぼの王様みたい。

(平成 25 年 12 月 13 日現在)

『収穫祭』を開催しました 清し有田佐田沖環境保全会

当保全会は、農地水の活動組織として平成 24 年から活動を開始し、約 2 年が経過しました。

今年は、小学生に農業の大切さを知って、経験してもらうため、もち米苗の田植えと稲刈り体験を行いました。そして、収穫したもち米を使って 11 月 24 日（日）に収穫祭を開催しました。

当日は、60 kg のもち米を杵と臼を使ってつき、小さな子供達にも体験してもらい、その後つきたてのお餅を美味しくいただきました。

また、地元で採れた農産物の直売会も実施し、約 200 名の方で賑わいました。



5 月 田植え



9 月 稲刈り



11 月 24 日 収穫祭の様子

